

県医労新聞

2008年10月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

佐々木 茂 喜

毎月1回発行 1820号(月刊35号)

Laugh & Peace

～東北魂～

みちのくアクト in 岩手



2008.8.29～31 12年ぶりに岩手で開催されたみちのくアクト(八幡平リゾートホテル)

目次

- 1P 大迫地区医療懇談会
ガイドライン学習会
後期高齢者医療制度不服申立
- 2P 院内保育所、医療局と懇談
ホームページリニューアル
地公共闘交渉
原油高！緊急大集会
- 3-4P 青年部ニュース
- 5P 増員闘争・全国活動者会議
岩手医労連定期大会
盛精裁判和解勧告
- 6P つぶやき とんがらし
パズル当選者発表
- 7P 職場川柳、10、11月の予定
懸賞パズル 全厚労医療研



わんこそば大会



乗馬に挑戦
(小岩井まきば園)

大迫地域医療懇談会開催

大迫地域の医療の灯を消すな!!



大迫地域の医療と福祉を考えるつどいが9月19日大迫交流活性化センターで開催され、地域から約30名が集まりました。大迫支部からも3名が参加しました。

はじめに、本部・書記長が公立病院改革ガイドラインの説明を行い、次に大迫診療センターの職員が病院の現状を報告しました。続いて、「守る会」から、大迫町の医療と福祉を守る会の申入書に対する医療局の回答について報告がありました。

ガイドラインって知ってますか?

各支部で学習会、チラシ配布

9月18日、花巻厚生病院で「公立病院改革ガイドライン」についての学習会が行われました。このままだと、地域医療が崩壊してしまう。そんな話には職員からは、「忙し

過ぎて新聞を読む暇がない、こんなことが起きているとは知らなかった。」「80代の父は一人で病院受診しているが、家の近くの病院が再編ネットワーク化でなくなったらとても困る」等、意見がだされました。

遠野病院では、「ガイドライン」のチラシ配布を、9月12日8時から9時の1時間行い、4名で250枚を配布しました。



(上)=ガイドライン学習会(花巻厚生支部)



(左)=病院玄関前でのチラシ配布(遠野支部)

住民からは、「今の機能を維持しないと安心して生活できない」、市議会議員からも「医療の崩壊は人口減少につながる。素案の前に運動をしなければ、大変な事になる」と発言がありました。また、療養施設から、「入所している方の急変時の対応や入院の対応してもらわないと入所者が安心して暮らせない」と訴えがあり、大迫診療センターの維持、存続で意見が一致しました。

後期高齢者医療制度 118人が不服申立

9月11日、後期高齢者医療制度による新保険料を不服として、年金者組合など5団体に加盟する75歳以上の被保険者118名が岩手県後期高齢者医療審査会に審査請求を行いました。

今後、審査会は県後期高

齢者医療広域連合などに弁明書、請求人に反論書を求め、棄却や容認を決定。中央社保協のまとめでは、現在までに35都道府県約5600人が審査請求を行っています。



院内保育所に関する医療局との懇談

全職員の雇用継続を！

9月10日、「院内保育所に関する要求書」について、医療局との懇談を行いました。

医療局職員課からは、志田総括課長、渡辺担当課長など4名が出席。県医労、衛生会からは各保育所運営委員会、保育士、保護者な



ど39名が出席しました。冒頭に 副中央執行委

員長から「現場の声を聞いて、よい保育所運営を」と

挨拶。その後、志田課長から要求書項目について回答がありました。

保育内容など多くの要求項目については、概ね要求どおりの回答でしたが、保

育士等の雇用については「文書にはできないが、(委託先に対し)優先的に雇

用するよう口頭での申し入れはする。ただし栄養士については必要ないと考えて

いる」と納得できない回答でした。引き続き、希望する全職員の継続雇用を強く

要求していきます。(詳細は9月16日付、号外2768号をご覧ください。)

ホームページもリニューアルしました!

県医労のホームページを更新しました。写真を使い、県医労新聞とも連動して変えていきます。特に、公立病院改革ガイドライン問題では、反対運動の情報発信としての機能を強化したいと考えています。まだ、「工事中」の所もありますが、是非のぞいてみてください。



<http://www.iwate-ken-irou.org>

地公共闘交渉

9月19日、地公共闘は、08年度県人勧を前に県人事委員会と交渉し、過酷な現場、給与カットや物価高騰で苦しい職員の家計状況などを訴え、改善を求めました。人事院で勧告された1日15分の労働時間短縮、給

与改定などについて、県人事委員会は「国・他県に合わせるのが基本だが、県内の民間の状況や、現在の情勢を考慮して判断したい」と、改善に消極的な回答で闘は、10月2日、県庁座り込みを行い、要求実現のため、引き続き奮闘します。

緊急大集会 もうがまんできない! 原油高!

9月5日、県内の生産者、消費者、事業者の12団体が「がまんできない!原油高!緊急大集会」を岩手教育

会館で開催しました。約800人が参加し、集会後には緊急対策を求めて盛岡市街をアピール行進しました。今後は署名や県議会、市町村議会への請願に取り組み予定です。



ポリタンクを手に訴える生協職員

飲んで、食べて 盛り上がった3日間!

日本医労連東北地方協青年交流集会・みちのくアクトin岩手



わんこそばをみんなでお腹いっぱい食べました。(オプションツアー)

8月29～31日、八幡平市「八幡平リゾートホテル」をメイン会場に、東北6県から126名(うち県医労18名)が参加し、「みちのくアクトin岩手」が12年ぶりに開催されました。

初日、開会式に続き、日本初の老人医療費無償化と乳児死亡率ゼロを達成した旧沢内村の生命尊重の理念を記録した映画記録映画「いのちの作法」が上映されました。夜に備えて眠っている人もいましたが、殆どの参加者はじっと観ていました。その後の夕食交流会では班対抗のゲーム等で大いに盛り上がりました。

2日目は、小岩井コース、わんこそばコース、八幡平コースの3ヶ所に分かれてオプションツアーが行われました。

八幡平コースの参加者は、あいにくの雨で八幡平の散策はできませんでしたが、温泉と郷土料理を楽しみました。

夜祭りの県別出し物として、岩手は伝統の「さんさ踊り」を披露しました。その他、各県とも工夫を凝らした内容で、最後は恒例の青森・ねぶたをみんなで踊り、大きな花火で締めくくりました。

最終日、充実した3日間を振り返り、別れを惜しみつつ家路につきました。

今回のみちのくアクトは初参加者が多かったのですが、「楽しかった」「また参加したい」など大好評でした。

なお、来年は山梨県(全国)、再来年は青森県(東北)で開催予定です。

開
会
式



これからのシンボルとなる新アクト旗を御披露目



緊張している総合司会の〇〇副実行委員長（左）

オ
プ
シ
ョ
ナ
ル
ツ
ア
ー



小岩井コースではジンギスカンに舌鼓



南部せんべい作り。美味しくできました！

大
夜
祭
り



各県の出し物は楽しいものばかりでした。



最後は花火で締め。みんなウットリ♡

感
想
文

入局7年目になりましたが、アクト参加は今回が初めてでした。また、みちのくアクトが岩手開催という事もあり、同じ職場から5名参加させていただきました。

東北6県、他職種、他の職場の方と班交流、夕食交流会、オプショナルツアー、県別交流会等の楽しい企画を通して、職場・地域の壁を越え、楽しく有意義な3日間を過ごすことができました。

初日に上映された「いのちの作法」では、生まれてくる命の大切さ、消えていく命を尊厳することの大切さを学ばせていただきました。

アクトを通して、労働者の要求を実現させていくためには、職場スタッフ、組合員一人一人の活動への参加が必要だということを改めて感じました。これからも県医労の一員として、医療・社会保障についての要求実現につながる活動への参加・協力していきたいと思えます。



久慈支部
3班班長 〇〇〇〇

医師・看護師・介護職員の

大幅増員と看護師確保法の改正を!

日本医労連08年増員闘争推進
全国活動者会議



日本医労連で取り組む、看護職員確保法の改正を求める署名

日本医労連主催の「08年増員闘争全国活動者会議」が9月3日・4日、熱海市で開催されました。全国から229名が参加し、県医労からは、4支部・本部、6名が参加しました。

3日は、東北大学の日野秀悦氏の講演「人間社会と医療・介護の役割」と、西川浩夫書記長による基調報告、大村淑美看護闘争委員長による看護対策委員会報告がありました。

4日は、分科会討論があり、今後の活動について活発に意見交換が行われました。

現在の看護師確保法には罰則規定がなく、夜勤回数に歯止めがかかっていない状況です。確保法改正要求の最大の眼目が月8回以内夜勤の法規制の実現です。

大会では医師・看護師・介護職員の大幅増員に向け、「看護師確保法・基本方針」の改正、諸要求実現を求める全国統一闘争の意義と取り組みを確認しました。

和解勧告

盛精従組不当解雇事件II

「和解を勧告します」。

仙台高裁判長は、9月9日開かれた第1回目の口頭弁論でこう言い渡しました。盛岡地裁では、労働者側全面敗訴。「判決では、0か100で、過酷なものとなる」とし、話し合いで

の解決を促しました。

閉廷後、支援に駆けつけた東北6県の医労連の代表、国民救済会の方々など、69人が、弁護士会館に移り、「報告集会」を開催しました。

和解協議は、9月29日、

判決は、11月7日。引き続きのご支援を。



報告集会で支援を訴える和野盛精従組執行委員長

岩手医労連第61回定期大会 新書記長に鈴木哲夫さん

岩手医労連第61回定期大会が9月6～7日、つなぎ温泉「ホテル大観」で開催され、県医労から31名が参加、県立病院の現状と取り組みについて発言をしました。

今大会では、14年間書記長を務めた岩間廣三さんが特別中央執行委員になり、新しく全医労岩手支部の鈴木哲夫さんが書記長に選出されました。

新規加入組合として「さわうち協立診療所分会」が承認され、7名が医労連の仲間に加まりました。佐々木委員長から組合旗と、桃太郎旗が贈呈されました。

全厚労第25回医療研究集会

地域の側から 医療を考える

11月14日(金)~16日(日)

花巻温泉「ホテル紅葉館」

リレ-報告 北東北3県の住民運動に学ぶ など

参加費	資料	1,000円	全日程 28,000円 ※資料代1000円は 組合本部負担とします。
	昼食	1,000円	
	夕食	9,000円	

【申込・連絡先】

全国厚生連労働組合 (全厚労)

TEL 03-5828-5450 FAX 03-5828-5455

詳細については支部に送付したチラシ等をご参照ください。

職場川柳

- 「改革」で 偽装列島に なっちやった (憂国の人)
- 自己評価 全員Aで エーでしよう (神の手)
- テロよりも 事故米怖いと 子どもも言い (危機管理者)
- 公約も きつと偽装だ 総選挙 (農水大臣)
- 取り戻そう 年金医療を 国民に (目覚めた人)

10月の予定

- 2日(木) 女性部長会議(国会会館)
- 4日(土)~5日(日) いのちと健康を守る東北セミナー(花巻温泉)
- 7日(火)~10日(金) 国民大運動県内キャラバン
- 11日(土)~12日(日) メンタルヘルス全国交流集会(京都)
- 17日(金) 情勢学習会(ホテル東日本)
- 18日(土) 第140回中央委員会(ホテル東日本)
- 19日(日) STOP!医療・介護崩壊 増やせ社会保障費 10.19中央集会(東京)
- 22日(水)~23日(木) フレッシュセミナー(ホテル森の風)
- 25日(土)~26日(日) フレッシュセミナー(//) はたらく女性の中央集会(東京) 看護講座(長野)
- 28日(火) 看護部会(県民会館)

11月の予定

- 1日(土)~2日(日) 日本医労連東北地方協院内保育所交流集会(ホテル大観)
- 11日(火) 産別回答指定日
- 12日(水) 産別統一行動(ストライキ)
- 14日(金)~16日(日) 全厚労医療研全国集会(花巻温泉) 日本平和大会(神奈川)
- 15日(土)~16日(日) 日本医労連精神労組交流集会(和歌山)
- 22日(土) はたらく女性の岩手県集会(県民会館)
- 22日(土)~23日(日) 職制組合員集会(ホテル森の風)
- 29日(土)~30日(日) 日本医労連給食問題全国交流集会

懸賞パズル

上下どちらかの絵に七つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に記念品を送ります。送り先は〒020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は10月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つぶやき」



まちがいは7つ 7月7日



(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合がありますので、匿名希望の場合には、その旨を書いた記入もお忘れなく！

ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入もお忘れなく！